

資本政策の選択肢を広げる

種類株式の活用と

法務・会計・税務

- 第1章 新しいタイプが出始めた
種類株式の活用をめぐる最新動向
- 第2章 内容、発行手続etc.
種類株式の会社法上の基本ポイント
- 第3章 上場規則で認められる手法は？
上場会社の種類株式の活用ポイント
- 第4章 支配権維持、資金調達、企業再生etc.
非上場会社の種類株式の活用ポイント
- 第5章 税務上の評価に注意
種類株式の会計・税務のポイント

宇賀村 彰彦(和田倉門法律事務所 弁護士・公認会計士)
生野 聡(和田倉門法律事務所 弁護士)
原木 規江(和田倉門法律事務所 税理士)

従来、主に非上場会社において活用されてきた種類株式。ここ最近では、トヨタによるAA型種類株式の発行、CYBERDYNEによるB種類株式での上場など、新しい活用のしかたがみられるようになった。そこで本特集では、種類株式を活用する際の法務・会計・税務の留意点をまとめていただくとともに、上場会社および非上場会社での具体的な活用場面や活用事例を紹介している。参考にさせていただければ幸いである。